

👑 公益社団法人 大津市シルバー人材センター



会員ニュース

発行／2021年2月 発行・編集／大津市シルバー人材センター広報委員会
TEL:077-525-2528 〒520-0043 滋賀県大津市中央2丁目2-5 中央市民センター3F

2021年
2月発行

春～よ 来い♪
早～く 来い♪

「待ちきれない春!」～アイス・チューリップ～
撮影: 広報委員 牧野 良二 草津市立水生植物公園「みずの森」にて

一舞台に立つー!!

Go on the 2nd Stage

ウィズコロナの中で
新たな視点に立った新規事業
を計画、紹介します



その1

会員講師による講習会 を開催します

(自己実現型就業)



これまでにシルバー人材センター会員の皆さんが培ってこられた豊富な知識や経験、優れた技術等を活かして、会員を講師とする講習会を開催します。講習会では、参加者に参加費を負担していただき、負担金で講習会経費が賄えることを目標に運営します。

皆さまからの「楽しい講習会」の提案をお待ちしています。楽しさは継続に繋がります。

楽しさの増大で「**人生100年!! 笑って生きる**」の実践を目指します。



講座例

おいしいコーヒー
のいれ方



将棋



書道



楽器



マジック



絵手紙



例示 DIY、手芸、書道、囲碁、将棋、釣り、マジック、楽器、園芸、華道、絵手紙、語学、ウェブデザイン、介護予防体操、料理、音楽、郷土の歴史、びわ湖の環境、おいしいコーヒーのいれ方等

その2

会員の企画・立案 事業提案を応援します

会員から「やりたい事業」を募集し、シルバー事業として採用します。
採用されたシルバー事業は広報等で運営を応援します。

(会員提案型事業)



例示 シルバーカフェの運営、衣類のリフォーム事業、
シルバーやさい広場、手芸品等の制作販売、写真館の運営等



その3



シルバーマーケットの開催

会員の制作する物品および作品等を販売する機会を提供します。出店された会員には、
必要経費を差し引いた売上げが配分金として支払われます。



例示 木工おもちゃ、玩具、
あみぐるみ、マスク、エコバッグ、
アクセサリ、野菜、絵画、写真等



その4

パソコン・スマホ 研修会の開催



デジタル社会に対応したシニアのコミュニケーション推進を目的に「Word・Excel、スマホ講座」を
開催します。WordおよびExcel講座で事務の仕事我希望するシニアを応援します。

また、スマホ講座では、安全・安心な操作とセキュリティを知っていただき、アプリを使った
お買い物やキャッシュレスを実践していただきます。

全10回の講座で受講料は無料です。定員は30名を予定しています。
申込み等詳細は改めてご案内しますので、皆さん乞うご期待!!



令和2年度 安全・適正就業推進大会は延期します

「安全・適正就業推進大会」は、適正な就業と事故防止を図るため例年2月に全会員を対象に開催
しています。昨年1月から続いています新型コロナウイルス感染禍は、現在も衰えを知らず東京都を始め
としましてお隣の京都府にも緊急事態宣言が発出されています。このような状況の中、大津市内に
おいてもいわゆる「3密」の回避に努める必要があります。従いまして、2月開催予定の「令和2年度
安全・適正就業推進大会」は開催できないと判断されました。

この大会の代替措置として、新年度のできるだけ早い時期に大津市内6ブロックで安全・適正就業
講習会を開催する予定です。ご理解いただきますようお願いいたします。



ありがとう びわ湖毎日マラソン ありがとう 清掃ボランティア会員

美しいびわ湖を全国に発信してきた「びわ湖毎日マラソン」が、2月28日の第76回大会を最後に幕が閉じられます。

来年は、会場を大阪に移し「第10回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会(仮称)」として開催される予定と報道がありました。

第1回大会から第16回大会までは大阪で開催され、第17回大会から琵琶湖畔が舞台となりました。途中、東京オリンピック予選会の関係で会場を東京に移されましたが、第20回大会から今回の大会まで皇子山陸上競技場をメイン会場に湖都大津市で開催されてきました。世界のトップランナーと互角に渡り合う日本選手の勇姿が全国放映されました。東京オリンピック金メダリストのアベベ選手の力走が忘れられない大津市民も多いと思われます。毎日マラソンは市民に元気と感動をくれました。

華やかな表舞台の陰で、当センターの会員さんが活躍されました。「全国の皆さんに美しい大津を見てもらおう。」との思いから、一つの地域委員会が始められたマラソンコース沿道の「開催前清掃ボランティア」は、コース沿道に位置する地域委員会に拡がり、第67回大会から今大会で10回を数えます。これまでに延べ973人の会員の方が参加されました。愛着ある「びわ湖毎日マラソン大会」が大阪に移されることは、誠に残念ですが、これまで以上に力走する選手を大いに応援したいものです。



長年の清掃ボランティアに感謝!

平素は、びわ湖毎日マラソン大会の運営に多大なるご尽力を賜り、誠にありがとうございます。2012年の第67回大会から、「コース沿道清掃ボランティア活動」として、これまで延べ約1千人の会員の皆様にご参加いただき、大津市へ来られる選手や沿道応援の皆様を気持ちよくお迎えすることができました。これも皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。第76回を迎える今大会で、残念ながらびわ湖・大津での開催は最後となりました。また、今大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、沿道の応援は自粛をお願いしているところではありますが、皆様のこれまでの思いも汲み入れながら、美しいびわ湖・大津を全国に発信し、本大会を一緒になって盛り上げていければと考えています。

本大会の活動を契機として、今後の更なる地域貢献活動でのご活躍を祈念しております。

びわ湖毎日マラソン大会
実行委員会事務局



編集後記



今回の会員ニュースの表紙は「アイスチューリップ」。一度発根したチューリップを冷凍し、再び常温に戻すことで擬似的な春を感じさせ、冬に開花させるそうだ。1か月くらいは楽しめる。

花言葉専門サイトによるとチューリップの花言葉は「思いやり」だ。また、チューリップの色に合わせ、それぞれ花言葉が付けられている。赤色は「愛の告白」、ピンクは「愛の芽生え」、紫色は「不滅の愛」だそうだ。

いずれも過去も現在もご縁のない言葉が並ぶ。「紫色のチューリップの花言葉通りのカップルよ。」なんて言われると実にうらやましい。そんなカップルには白色のチューリップを贈呈したい。白色のチューリップの花言葉は「失われた愛」。年はとりたくない。腰は伸びても根性は相当曲がってきたかな。

花には神からメッセージが込められていると考えられ、それぞれの花にふさわしい花言葉が与えられ、19世紀初頭にフランスで大流行したらしい。ネットで簡単に検索できます。「思いやり」を持って、若者に花を添えてプレゼントしましょう。